

# 地域猫ってなあに？

**増やさずに地域で見守ることで 最後は「ゼロ」に……**

「地域猫」は、飼い主のいない猫(のら猫)に関わる問題を地域で解決する取り組みです。

## ステップ1 ひとりで悩まないで

飼い主のいない猫(のら猫)の困りごとは様々です。かわいそうで餌をあげたら増えてしまった、親子で野良猫が庭に住み着いた……。

猫問題は放置しても解決しません。1人で悩まずに、まずは保健所や動物愛護センター、動物愛護推進員、動物愛護団体などに相談しましょう。

## ステップ2 地域で整理することが始めの一歩

地域猫のスタイルはさまざまです。猫の世話をしている人、迷惑を受けている人、町内会(自治会)、ボランティア、動物愛護団体、行政、さまざまな立場で協力しながら進めることがカギになります。

## ステップ3 基本は **T N R** プラス **M**

繁殖制限手術でこれ以上増えないようにしながらトイレの設置や餌やりなどの管理を行い1代限りの命を見守ります。人慣れした猫や子猫は新しい飼い主探しの道もあります。継続することで徐々に猫は減っていきます。

**T** 捕獲(トラップ)

**R** 元の場所に戻す(リターン)

**N** 不妊去勢手術(ニュートー)

+ **M** マネージメント



妊娠中のメス猫。不妊手術をしないと年に2、3回子猫を産み、あっという間に増えてしまいます。

# 餌やり禁止と言わない理由

- 1 猫は縄張りの中で生きるもので、餌やりを禁止してもその中で餌を探します。ゴミ置き場を荒らしたり、家の中に侵入したり、かえって迷惑行為が増える結果になることも。
- 2 禁止看板などを設置すると、餌やりさんをルール違反者と決めつけることになり、住民間のトラブルを助長して問題解決から遠ざかってしまいます。
- 3 えさ場をきちんと決めることで、頭数確認、トイレや寝床などの管理ができます。こっそり餌やりしていると、猫の管理も衛生管理もしにくくなります。
- 4 餌やり禁止にすると、その地域で猫の情報に詳しい人の協力が得られなくなってしまいます。→ **餌やりさんは、最大の協力者になりうるのです。**



# さあ、実践！ 地域猫①

## まずは調査、計画、周知

現状を把握して、みんなで問題を共有することが最初の一步です。費用負担や役割分担、最初に十分な話し合いをして目標を決めましょう。

その **1** 何匹の猫がどんな状況で生活しているの？ 誰がお世話をしているの？ 迷惑している人はいるの？

その **2** TNR((手術して元の場所にリリース)にかかる費用とその負担、捕獲と運搬の分担やスケジュールを検討します。フリーマーケットやカンパで賄う方法もあります。

その **3** 周囲の方に理解を求めましょう。活動の主旨、目的や捕獲の期間、飼い猫がまちがって捕獲されないように注意を求める回覧板を回します。



# さあ、実践！ 地域猫②

## 増やさないため、TNRを行いましょ

T=捕獲して、N=不妊去勢手術をして、R=元の場所に戻すことが基本です。動物病院に相談の上、捕獲する日を決めます。人慣れしていない猫は捕獲機を使うことで人も猫も怪我なく捕獲できます。助成金制度も各種設けられているので各機関にお問い合わせください。人慣れた猫や子猫は新しい飼い主探しの道もあります。のら猫も元は飼い猫。暖かな家庭に迎えられよう是非、ご協力ください。



捕獲機の入り口と中においしい臭いがする餌をセットします。



捕まえたら猫が興奮しないように、ただちにバスタオルをかけましょう。



車の運搬で汚さないよう、ペットシートや新聞紙を利用します。



### 手術済の『目印』耳カット=さくらカット

不妊・去勢手術をして現場に戻す際には目印をつけます。V字カットを通称「さくらカット」と言います。他にピアス、水平耳カットなどあります。



# さあ、実践！ 地域猫③

## 環境整備を行いましょう

繁殖制限手術だけでなく、水と餌、トイレと寝床を用意するなど猫たちが安心して暮らせる環境を作ることによって、結果的に、周囲への迷惑行為も軽減されます。餌のトレーを置きっぱなしにすると不衛生な環境になり悪臭や、カラスやねずみの害の原因にもなります。置き餌はやめましょう。



カラスが餌のトレーをくわえている様子。



猫の排泄場所。夏場は悪臭の原因に。



発泡スチロールの仕分け箱を使った猫ハウス 横に穴をあけて出入口に。



灯油コンテナを使った猫ハウス 中に毛布等を入れます。



雨風が当たらない場所なら段ボールに断熱材や敷布をいれても。



コンテナを使った猫トイレ。天候に左右されないのので使い易く管理も簡単です。

# 地域猫活動の実例①

## 繁華街に暮らす猫たち

何十年もの間、不特定多数の人がのら猫に餌を与えて荒らされたゴミと猫の排泄物が悪臭の原因に。猫たちはきびしい環境の中で生き残りながらも長生きできず、人にも猫にも不幸な状況が続き自治会からNDNに相談がありました。

「保健所に連れていくようなことはしたくないが、猫の被害にうんざりしている。」

相談の上、TNR(手術して元の場所にリリース)を決意してNDNが捕獲と運搬を手伝い、手術費用は助成金を利用して町内会費で賄うことを決めました。合計13匹の手術と子猫4匹は新しい飼い主を探したところ、発情期の鳴き声がなくなり糞尿の被害も軽減されました。猫たちは今も繁華街で暮らしています。今後も見慣れない猫が現れたら随時手術を行なう予定です。



カラスと猫の戦いで日々ゴミが荒らされている。



餌を持参するとわらわらと猫が集まる。



妊娠中の猫も。



捕獲スタート。猫たちは捕獲機に興味津々。



捕獲された子猫。



家猫として、今はしあわせに…



年末には一斉清掃作業も行いました。たくさんの排泄物にびっくり!

# 地域猫活動の実例②

## 住宅街に暮らす猫たち

静な住宅街に以前からのら猫が住み着き、複数の餌やり住民と、糞害などで迷惑を受けている住民がいて町内の困りごととなっていました。餌やりしないよう保健所が指導したり子猫が生まれたら保健所に持ち込むなどしていたものの問題は解決せず、新潟市地域猫モデル事業第1号として取り組むことになりました。

動物愛護推進員による事前調査、関係者で何度も打ち合わせを行い、住民説明会を行った上で活動を開始。住民、動物愛護推進員、NDNで捕獲、運搬を行い、手術は新潟市動物愛護センターで新潟市内のボランティア獣医師19名が参加して2ヶ月間で合計20匹のTNRを行うことができました。人慣れした子猫2匹は新しい飼い主の元へと迎えられました。今後も見慣れない猫が現れたら助成金を利用しながら町内会費で随時手術を行なう予定です。



あちらこちらに猫の姿が。



のら猫対策のガーデンバリアー（超音波器具）



糞害に困り果てて砂利を敷いたお宅。



とげとげマット、スプレーの設置。



住民説明会の開催。



捕獲開始。



番号をつけて個体識別。



猫ハウスの設置。



猫トイレの設置。



猫トイレの設置。



子猫は暖かい家庭に迎えられました。

# 不幸な猫を減らすために

## 猫対策3つの輪

保健所に収容される猫の半数は飼い猫、半数は飼い主のいない猫です。個人の問題、地域の問題として適切に管理することで、不幸な猫を減らしましょう。

### 自助

飼い主さん、餌やりさんの  
日頃の適切な管理  
不幸な猫を作らない自覚と責任  
不妊去勢手術、屋内飼育、  
迷子札の明示

### 公助

今どきの猫の飼い方啓発  
不妊去勢手術助成金  
地域猫活動への支援  
法律や条例の整備

### 共助

ご近所で顔の見える関係  
地域で問題解決する意識  
動物愛護団体や  
愛護推進員の協力・連携



1つひとつがかけがえない命です。



個人の家で不妊去勢手術しないまま増えてしまった猫たち(多頭飼育崩壊)